

特選

紫陽花や水音遠く近く聞き

青梅市

柳田一江

評 水音に囲まれたみずみずしい紫陽花。

紫陽花のさざ波のごと彩移り

府中市

高柳玲子

評 「さざなみのごと」は七変化を言いえています。

蛇の目傘くるり紫陽花祭りかな

府中市

佐藤光紀

評 祭りに蛇の目傘が「くるり」は当てを得て面白い。

紫陽花に印象派めく日影かな

練馬区

三島聖司

評 マネ・ドガのように自然の変化を捉えた絵のよう。

紫陽花やけふ会ふ人に会わぬまま

日野市

高柳昭子

評 会うのも忘れて紫陽花に見とれ、気が付いた時。

佳作

達治詠む紫陽花いろは森の蔭

府中市

前原直子

あじさるの精にさゝやく恋ごころ

目黒区

鎌田ハルエ

あぢさるの焦れ香なる小径かな

府中市

柿谷妙子

雨降らば色めかすだろ七変化

府中市

城間郁代

あぢさいにサファイヤ置いて雨去りぬ

府中市

塩澤登美子

紫陽花に変化の日日の始まりぬ

府中市

志田礼子

紫陽花や昔を想ひ蕎麦を食ふ

府中市

阿部宏一

額咲ひて人にやさしき風を生む

川越市

関口幹雄

遠き日の細道覆ふあじさい花

府中市

萩原和子

あじさいの花のしづくに衣ぬらし

府中市

平田潤子

(敬称略)

「市村究一郎」 昭和二年東京生まれ。水原秋櫻子に師事。「馬酔木」編集同人を経て

「カリヨン」創刊主宰。俳人協会評議員。